

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-42C	15-099	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The Association Between Alcohol Consumption and Lung Carcinoma by Histological Subtype. アルコール摂取量と組織学的サブタイプ別にみた肺がんとの関連		
<b>執筆者</b>		
Troche JR, Mayne ST, Freedman ND, Shebl FM, Abnet CC.		
<b>掲載誌</b>		
Am J Epidemiol. 2016 Jan 15;183(2):110-21. doi: 10.1093/aje/kwv170.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール摂取量、肺がん、コホート研究		26672017
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>アルコール摂取と肺がんの関連は明らかでなく、大規模コホート研究における組織学的サブタイプ別の肺がんとの関連は報告されていない。本研究では、喫煙と酒類別にサブタイプ別を含む肺がん発症リスクとの関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>NIH-AARP Diet and Health Study に参加した 566,398 名 (50-71 歳) を対象に前向きコホート研究を実施した。がんの既往者、アルコールデータ欠損者等を除外し、492,902 名を解析対象とした。ベースライン時に過去 12 か月間のアルコール摂取量および酒類、喫煙等に関するアンケート調査を行った。追跡終了時までの肺がん発症およびサブタイプをがん登録および International Classification of Disease for Oncology (ICDO) に基づいて評価した。アルコール摂取量を 7 群 (0, 0-0.5, 0.5-1, 1-3, 3-5, 5-7, 7 杯/日以上) にカテゴリー化し、Cox モデルにより喫煙別および酒類別に各サブタイプのハザード比 (HR) および 95% 信頼区間 (95% CI) を算出した。</p> <p><b>結果：</b>約 10 年の追跡期間中、10,227 名を肺がん (腺がん: 4,036 名、扁平上皮細胞がん: 1,998 名、小細胞がん: 1,524 名、未分化がん: 559 名、その他: 2,110 名) と診断した。肺がん発症 HR (95% CI) は、アルコール摂取量 0 杯/日と比べ、0.01-0.49, 0.50-0.99, 1.00-2.99 杯/日の軽度飲酒でそれぞれ 0.92 (0.87-0.97), 0.89 (0.82-0.96), 0.94 (0.88-1.00) と低値であったが、7 杯/日以上では 1.11 (1.00-1.24) と高かった。サブタイプ別では、アルコール摂取量の増加に伴い扁平上皮細胞がんが減少した一方で、腺がんは 7 杯/日以上でリスクが増加した (HR: 1.30, 95% CI: 1.09-1.55)。肺がんに対する喫煙とアルコールの相互作用は認められなかった。酒類別の検討では、ビールが最も肺がんリスクを上昇させた。</p> <p><b>結論：</b>アルコール摂取は肺がん、特に腺がんの発症リスクを上昇させた。アルコール摂取量と肺がんの関連はサブタイプで異なることを明らかにした。</p>		